

幼小中つながる通信 vol.70

発行：令和 2 年 4 月 21 日 袋井市教育委員会

ICTで「考える力」を育てる



協働学習アプリ「ロイロノート」を使って考えを深め合う

思考ツールと ICT を使いこなす

三川小学校では、思考ツールと ICT の活用が進んでいます。このほど開催された「考える力」を育てる授業の校内研修会では、「三川の魅力」を題材に、思考ツールと ICT を使って考える授業が行われました。授業では、次のような学習活動を、思考ツールと ICT を使って行います。

活動 1 一人で考える（自分の頭の中を整理する）

頭の中にひらめいたことを、タブレット端末上のデジタル思考ツールに記入していきます。

活動 2 みんなで考える（考えを深め合う）

タブレット端末を使って自分の考えを仲間と紹介し合い、考えを深めていきます。

活動 3 論理立てて説明する（わかりやすく表現する）

思考ツールで比較したり、分類したり、多面的にとらえたりして整理したことを順序立ててつなぎ、自分の考えを論理的にまとめます。

このような一連の活動を手助けするのが、タブレット端末に備えた協働学習アプリ「ロイロノート」です。子どもたちは、あらかじめ自分がまとめたデジタル資料を、ノートをめくるようにスワイプ（指先で横にスライド）させ、自分の考えを順序立てて友達に説明します。

今年度は、ロイロノートを使いこなせるよう使い込むことで、「考える力」を育成していきます。



遠隔地からオンラインで講義する田村教授

ICTを使った新しい研修スタイル

研修の講師は、深い学びの提唱者である、國学院大学の田村学教授。新型コロナウイルスにより首都圏からの移動がままならない状況下、ICTで東京と袋井を結び、オンラインで講義をしていただきました。

必要に迫られての新たな試みでしたが、評判は上々。画面を通してのやりとりも、ストレスなく行うことができました。今後は、このような機会が増えることを実感しました。

